

科目名	中国語2c A	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	姜 杰裕		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320232	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	前期に引き続き発音を重視して、単語の量を増やし、テキストを基づいて日常会話において頻出する表現をネイティブのような発音ができるように練習を重ね、実用的な会話力を身に付けていく。同時に習った文法を応用し作文練習を行うことで、高度な語学運用のための基礎を築く。				
学修到達目標	中国語の語彙量を増やし、文法を広め、イントネーションを掴み、簡単な日常会話ができるようにする。拼音が正しく聞き取れ、書き取れるようにする。通じる・通用する中国語コミュニケーション能力を高めていく。中国語検定試験4級に合格を目標とする。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	前期内容の復習・後期への導入
第2回	「買い物1」
第3回	「買い物2」

第4回	「大学で」
第5回	「中国旅行 1」
第6回	「中国旅行 2」
第7回	まとめ・復習・確認テスト
第8回	動作の進行・持続の表現
第9回	比較の表現
第10回	「アルバイト①」
第11回	「アルバイト②」
第12回	「まもなく休みになる」
第13回	検定対策 1 「文法編」

第14回	検定対策2「リスニング編・単語編」
第15回	口頭発表
第16回	筆記試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキストや配った資料・ネットなどを通じて、毎日中国語に触れる習慣をつける。次に学習する新出単語の意味・?音・声調を予習しておく。予習時間4時間。
【復習】時間・内容	習った単語の?音が正しく書ける、意味も分かる。CDを聴きながら本文を正しく流暢に読めるように音読練習する。宿題を完成し、訂正された問題点を理解し解決する。復習時間4時間

成績評価	
評価基準・方法	毎回の授業で学習した単語と文法を使い、会話練習をする。定期的に小テストを行う。期末試験（40%）、授業態度・授業参加（20%）、小テスト（20%）、成果発表（20%）を合わせて総合的に成績を評価する。テストを採点して返却し、解説を行う。
フィードバック方法	宿題は答え合わせをして問題点を指摘する。発表については内容や発音などを指導する。小テストと試験については試験後に模範解答、講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格の道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)
受講上の留意点等	中日辞典(紙媒体の辞典ないし電子辞書)を必ず持参すること。授業の実情により授業内容を調整する場合がある。
JABEE	

科目名	中国語2c B	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	姜 杰裕		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320232	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	前期に引き続き発音を重視して、単語の量を増やし、テキストを基づいて日常会話において頻出する表現をネイティブのような発音ができるように練習を重ね、実用的な会話力を身に付けていく。同時に習った文法を応用し作文練習を行うことで、高度な語学運用のための基礎を築く。				
学修到達目標	中国語の語彙量を増やし、文法を広め、イントネーションを掴み、簡単な日常会話ができるようにする。拼音が正しく聞き取れ、書き取れるようにする。通じる・通用する中国語コミュニケーション能力を高めていく。中国語検定試験4級に合格を目標とする。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	前期内容の復習・後期への導入
第2回	「買い物1」
第3回	「買い物2」

第4回	「大学で」
第5回	「中国旅行 1」
第6回	「中国旅行 2」
第7回	まとめ・復習・確認テスト
第8回	動作の進行・持続の表現
第9回	比較の表現
第10回	「アルバイト①」
第11回	「アルバイト②」
第12回	「まもなく休みになる」
第13回	検定対策 1 「文法編」

第14回	検定対策2「リスニング編・単語編」
第15回	口頭発表
第16回	筆記試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキストや配った資料・ネットなどを通じて、毎日中国語に触れる習慣をつける。次に学習する新出単語の意味・?音・声調を予習しておく。予習時間4時間。
【復習】時間・内容	習った単語の?音が正しく書ける、意味も分かる。CDを聴きながら本文を正しく流暢に読めるように音読練習する。宿題を完成し、訂正された問題点を理解し解決する。復習時間4時間

成績評価	
評価基準・方法	毎回の授業で学習した単語と文法を使い、会話練習をする。定期的に小テストを行う。期末試験（40%）、授業態度・授業参加（20%）、小テスト（20%）、成果発表（20%）を合わせて総合的に成績を評価する。テストを採点して返却し、解説を行う。
フィードバック方法	宿題は答え合わせをして問題点を指摘する。発表については内容や発音などを指導する。小テストと試験については試験後に模範解答、講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格の道のり』 著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)
受講上の留意点等	中日辞典（紙媒体の辞典ないし電子辞書）を必ず持参すること。授業の実情により授業内容を調整する場合がある。
JABEE	